

23分のプロジェクト発進!!

ピンクリボンフォーラム 2007 by きらら&うらら

みんなで考える乳がん

プログラム

13:00	開場	15:35	第Ⅲ部
13:30	第Ⅰ部	講演:「大切な乳がん検診」 座長/片岡 健氏(広島大学大学院保健学研究科 教授) 講師/香川 直樹氏(県立広島病院 一般外科 医長)	
	VTR「あなたが、あなたの大切な人が、 乳がんになったら」 在広放送局女性アナウンサーのインタビューVTR	VTR「きららから、あなたへ」	
	講演:「乳がんとは」 座長/桧垣 健二氏(広島市立広島市民病院 乳腺・内分泌外科 主任部長) 講師/村上 茂氏(広島大学病院 原医研腫瘍外科 講師)	16:30 終了	
	VTR「乳がん、そのとき私は…」 ～乳がん体験者の声～ きらら会員さんのインタビューVTR	企画・制作:安部貴美子(RCC中国放送 報道制作局 ディレクター) 司会・進行:中川 圭(乳癌患者友の会きらら 代表)	
14:45	休憩		
15:00	第Ⅱ部		
	「みんなで考える乳がん」 ～ドクターからのメッセージ～ 座長/久松 和史氏(広島市立安佐市民病院 外科部長) 演者/高橋 護氏(広島大学病院 第二外科) 寺本 成一氏(九州中央病院 乳腺外科 医長) 大谷彰一郎氏(広島市立広島市民病院 乳腺・内分泌外科)		



乳癌患者友の会 きらら (世話人代表 中川 圭)

当会は、乳がん患者とその家族のための会です。前向きに乳がんと闘う事を目標においた、会員相互のボランティアで運営される自助グループとして、設立されました。

婦人科癌患者の会 うらら (世話人代表 武井 妙美)

当会は、婦人科がん(子宮がん・卵巣がん)患者とその家族が、前向きにがんと闘う事を目標においた、会員相互のボランティアで運営される自助グループとして、設立されました。

女性と健康を考える会 (代表 後幸 美幸)

私たちは、全ての女性が生涯にわたって、身体的・精神的・社会的に健やかである事を願います。当会は、「女性の健康づくりを応援する事」を目的に、会員相互のボランティアで運営される自助グループです。地域に根ざした女性の健康づくりが実現されるよう、質の高い正確な医療情報の収集と提供に努力していきます。

上記の団体はいずれも非営利団体です。当会での、営利目的の活動及び、政治活動、宗教活動は一切禁じます。

〒730-0011 広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F T&T WAMサポート(株)内
Tel:090-1686-7615 Fax:082-511-1136 e-mail:kirara@g-town.co.jp URL:http://www.g-town.co.jp/kirara/

胸にしこりをみつけた瞬間、「乳がん」と告知をされたその瞬間から、
私たち「きらら」はあなたを支えます。

出演者のご紹介

在広放送局女性アナウンサーの インタビューVTR出演者

NHK広島放送局

井上 あさひさん

広島テレビ

馬場 のぶえさん

テレビ新広島

石井 百恵さん

ひろしまPステーション

土肥 しのぶさん

RCC中国放送

和佐 由紀子さん

広島ホームテレビ

渡辺 美佳さん

広島エフエム放送

中川 真由美さん



第I部 座長

広島市立広島市民病院 乳腺・内分泌外科 主任部長
梶垣 健二氏

人生にはチャンスがいくつかあります。乳がんの世界にも二つあります。ひとつは乳がん検診をうけて切るだけで治る段階で早期に見つけることです。もうひとつはなってしまった乳がんを標準治療のもとで治す努力をして治る可能性を広げることです。チャンスは待つものではなく、ご自分で作るものです。



第I部 講師

広島大学病院 原医研腫瘍外科 講師
村上 茂氏

日本人の女性で最も多く乳がんが発症する年齢は40～50歳代です。これまでに大きな病気をしたことの無い女性が、ある日突然に乳がんがんと診断される場合が多いのです。23分の1という確率は全ての女性の身近にあるということ、このことをご一緒に考えてみませんか。



第II部 座長

広島市立安佐市民病院 外科部長
久松 和史氏

乳がんは最近増加している病気ですが、マンモグラフィ検診で、早期に発見できます。早期乳がんは治る病気です。気軽に検診を受けましょう。万が一、乳がんになった場合、乳がんの専門医がいる病院を受診しましょう。



第II部 演者

広島大学病院 第二外科
高橋 護氏

成人女性の23人に1人は乳がんになるといわれていますが、早期発見によりほとんどの乳がんは治りますし、乳房を残せる可能性も高くなります。皆さん、2年に1回は必ずマンモグラフィ検診を受けるようにしましょう。



第II部 演者

九州中央病院 乳腺外科 医長
寺本 成一氏

「自分は乳がんにならない」なんて思っていないですか？「乳がんにはならない」という自信はどこから来るのでしょうか？検診を受けて、「乳がんになっていなかった」という確証に変えてみませんか？



第II部 演者

広島市立広島市民病院 乳腺・内分泌外科
大谷 彰一郎氏

乳がんは早期発見・早期治療すれば90%以上の方を乳がんから救うことができます。それには早期発見が何より大切です。自分のためにも、愛する大切な家族のためにも乳がん検診を受けましょう。このフォーラムが検診を受ける「きっかけ」になれば幸いです。



第III部 座長

広島大学大学院 保健学研究科 教授
片岡 健氏

正しい自己検診法を身につけ、定期的な乳がん検診を受けることで、一人でも多くの方が乳がんで亡くならず済むようにしたいですね。また術後合併症の少ない質の高い良い医療が受けられるよう、医療者側も日夜研鑽致します。



第III部 講師

県立広島病院 一般外科 医長
香川 直樹氏

乳がんは、早期発見・早期治療をすればこわくない病気です。「わたしだけは大丈夫」「がんだったらこわいから検査はしたくない」というみなさん、まずはこのフォーラムに参加してみませんか？



企画・制作

RCC中国放送 報道制作局 デイレクター
安部 貴美子

家族や友人ががんに罹り、闘病生活を送る中で、「私もがんになるかも…」という思いは違和感なく胸に落ちました。愛する人や自分のため、今日よりいい治療・QOLを求めて、一緒に歩き出しませんか？



司会・進行

乳癌患者友の会きらら 代表
中川 圭

私達「きらら&うらら」は、全ての女性が生涯にわたって、身体的・精神的・社会的に健やかである事を願います。ピンクリボン活動を通して、一人でも多くの方が、「女性の健康」に関心を持って下さることを望みます。あなたとあなたの大切な人の命を守るため、「23分の1プロジェクト」、発進します！